



新保育所で遊ぶ園児たち

装い新たに園部保育所

園部保育所が山崎から真家1921番地（園部出張所隣）に移転し、建て替えられました。新保育所は木造平家建て瓦葺きで、面積が602.85㎡。本体事業費は1億3,517万円です。町の保育所では初めて、全室暖冷房を完備しました。ほかに付帯事業として、プールやブランコ、出入口の拡幅、周辺の雑排水路の整備などを実施。引越しは、町職員と、保護者のみなさんのご協力により行われました。園児たちは4月1日から装いを新たにした保育所で、学習や運動に一生懸命励むことでしょう。



◇町の人口(3月1日現在) 男14,987人 女15,312人 計30,299人(前月比-7) 世帯数7,390世帯(前月比+11)

救急活動報告

処置拡大し、救命アップ

救急車の出場要請 半数近くが軽症患者

町の平成4年1月から12月まで一年間に、救急車の出場した件数が551件、搬送した人は559人でした。出場した内訳は急病がトップで245件、次いで交通事故の159件、三番目が一般負傷の77件となっています。

曜日別出場件数は日曜日が最も多く108件、次いで土曜日が86件、火曜日が81件の順になっています。逆に少ない曜日は月曜日の60件、水曜日の66件が目立っています。救急車の出場回数は休日が多く、平日は比較的小さい傾向にあります。

また、2時間単位の時間帯別出場件数は、12時から14時までが71件、10時から12時が68件、16時から18時が63件と多く、少ない時間帯は夜中の2時から4時が17件、4時から6時が19件、0時から2時が31件となっています。時間帯別の傾向としては、8時から18時までの昼間が323件で、全体の

58・6%を占めています。特に、交通事故や一般負傷での出場は昼間が多く、夜間は急病での出場がほとんどです。

救急車出場の多い時には、1日で5回から6回になることもあり、八郷消防署には、救急車が1台しかなく、出場要請の時間帯が重なる、新治地方広域事務組合管内（千代田町、出島村、新治村）などから呼ぶこととなります。

もちろん、町外からの出場となると、到着時間は長くなり要請したかたもやきもきすることがあります。とりわけ、一刻を争う重症の患者さんから要請があった場合に、出場の重なる、かけがえのない命を失うことにつながりかねないことから、救急隊員のみなさんは気がでないそうです。

ところで、傷害程度別搬送人員によると、軽症にもかかわらず救急車を要請しているかたが最も多く、248人と全体の半数近くにのぼっています。軽い風邪の症状であつたり、酔払つてうずくまっているのを見かけたり、ちよつと

したケガをしたりで出場要請されるかたが意外に多いそうです。このようなかたは、できるだけ自家用車などで病院へ行くようにしてください。そうしないと、ほんとうに困っている重症の患者さんを助けることができなくなるかもしれません。

緊急時の連絡は 住所氏名を正確に

また、緊急時の連絡は次の要領でお願いします。

意識がない、呼吸していないなど、急を要する状況下ではとにかくあわてがちですが、救急車を要請する場合には、119番（園部地区は43-6491）に電話します。そして次の事柄を伝えます。

①「救急です」

②住所（地理の目安）、氏名

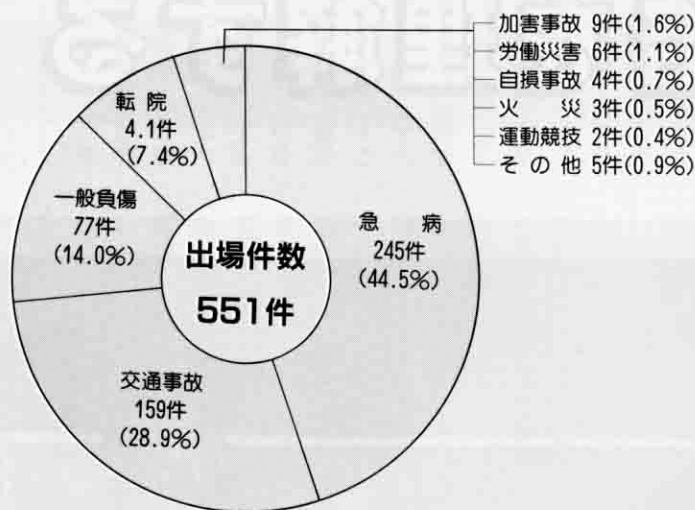
③事故時の状況や本人の具合

を具体的に「いつ、どこで、誰が、どのように、なった」と伝えます。また、応急処置を行った場合にはその内容も伝え、救急車到着までに必要な処置があれば指示に従い



急病、ケガ、交通事故などいざという時、最も頼りになるのが救急車。しかも昼夜を問わず電話連絡ですぐ現場へかけつけます。車社会、高齢化社会の影響もあって救急車の出場件数は、年ごとに増加しています。しかし、日本の救命率は欧米に比べてかなり低下しており、救急車の新型設備導入や救急隊員の講習会の充実を通して、救命率アップを図っています。そこで、救急車の出場動向を踏まえながら、私たちはなにを協力すればよいかを考えてみました。

事故別救急出場件数 (平成4年)



ます。
その間に家族が持参するものを用意します。
健康保険証・印鑑（入院の場合必要）
嘔吐したものなどは診断の参考にするといでしょう。日ごろの体温や排せつ状態など記録ものがあれば持参します。その他現金や筆記道具なども忘れないようにしてください。かかりつけの病院（主治医）があれば救急隊員に知らせます。家族は患者に付き添います。車の中では救急隊員のじやま

救急車到着までの 判断と処置を適切に

また、お年寄りや病気のかたと生活をともにしているということ、は、事故や急変（急病）といった事態と背中合わせといっても過言ではありません。救急車が到着するまでの判断と処置が予後に影響します。正確かつ適切であることが望まれますが、複数の疾患を合わせ持つお年寄りの場合には専門家でもむずかしいケースもあります。

す。そこで、次の事柄を確認してください。
①出血の有無を確認する

出血している場合には、止血します。大出血の場合にはショック症状を起こすことがあります。症状としては、顔面蒼白（くちびる、爪）になり、冷汗や吐き気があり、目はうつろなことがよくあります。生あくびが出て意識がもうろうとなることがあります。

まず、止血・保温・安静としたうえで、ショック時の体位をとらせて落ち着かせます。

②意識の有無を確認する

意識がない場合にはすぐに気道確保を行います。方法は片手で首の後方を支えながら、一方の手で頭を後方へ反らせます。

■確認方法

大声で名前を呼ぶ、ほほをたたき、手足をつねるなどで反応をみます。呼びかけに対して応答があれば心配ありませんが、ほんやりして応答がない場合は意識混濁と考えてください。全く反応がなく意識がない場合は生命が危険な状態です。

③呼吸の有無を確認する



心臓と脳へ血液を集中させるショックパンツ



心電図、血中酸素、脈拍、血圧を電送する新型機材

呼吸が停止している場合にはすぐに人工呼吸を行います。呼吸停止後数分で血液の循環が悪くなり脳細胞の動きは低下します。四分間以上放置すれば心臓は停止するといわれます。救急車が到着する前に人工呼吸を開始する必要があります。

■マウス・ツウ・マウス人工呼吸法

①まず、気道確保を行います。
②あごを突き出させ、患者の鼻をつまみ、深く息を吸います。息を吹き込みながら、患者の胸の動きを確認します。

③介護者は口を放し、患者が息を吐き出すのを胸の動きとほぼで確認します。この動作を5秒に1回

の割でくり返します。
④患者が開口できない状態の時には、口を閉じて鼻から息を吹き込む方法で行います。

一方、救急車の設備は救命率を高めるため、さまざまな最新の機材が導入されています。たとえば血中酸素、心電図、血圧、脈拍を同時に測定できる新型の心拍心電計を配置し、測定値を直接病院へ電送するシステム。あるいは、下半身を空気に圧により締めつけ血液を脳や心臓へ一時的に送るショックパンツ。そしていままでも救急車では使えなかった聴診器も使えるようになりまし。ますます救急拡大処置が講じられる救急業務にご理解とご協力をお願いします。

気心と性格を理解する

カバゴンの愛称で親しまれている教育評論家、阿部進さんの講演会が二月七日、教育振興大会に開かれました。集まったのは学校の先生や教育関係者など約四百人。変化する教育現場の問題点を探りながら、独自の気質別教育法を紹介し、個人尊重の愛情あふれる教育について、ユーモアを交え熱く話されました。豊富な経験と幅広い知識に裏打ちされた阿部さんの話は有意義で面白く、参加者の共感を呼んでいました。その内容を要約し、ご紹介します。



いま、教育は大きく変わる

川崎市教育委員会の先生たちが、お子さんにつける学習指導要録を親が見てほしいと言った場合、公開するという形で出ました。指導要録とは、小学校だと一年生から六年生までの成績と先生の意見が全部ついたもので、マル秘という形になっています。

自分の子どもに先生がどんな成績評価をしているのか、どんな意見を書いているのか、見せてほしいといった場合、それを公開するという形で出まして、文部省はちょっと困惑気味で「それはちょっと行き過ぎではないだろうか」みたいな意見でした。先生の指導がこれ以後やりにくくなるのか、それともむしろ公開されることによって、子どもに対する教育の仕方が変わってくるのか、これからの結果が注目されるところです。

また、前の鳩山文部大臣が「適正な試験を受ける前に、業者テストを子どもたちに実施し、推せんという形で合格させています。私立高校と公立中学校の間でそういう取り引きを行うことは不正義であり断じて許すことはできない」と、激しい口調で言われました。

一方、平成四年度から小学一・二年生は、社会科と理科を一緒に

して生活科にしています。三年生以上になると、またもとの社会科、理科に分けますよという形。生活科を作るにあたって文部省は、「スズメの学校」から「メダカの学校」に変わるといいう方をしています。「スズメの学校」の歌詞は「スズメの学校の先生はムチを振り振りチイパッパ」。「メダカの学校」は「メダカの学校は川の中、だれが生徒か先生か、みんなでお遊戯しているよ」です。ということは、いままでの教育は教える側の都合で進められてきた。それを今度は教わる側の都合に変わることです、と考えていいと思います。

たとえば平成四年度現在、全国に七万人近い登校拒否児がいる訳ですが、その主たる原因は子どもと親にあり、欠席を出席にするよう努力しなさいと、文部省は言い続けてきました。ところがその件に関して、学校にもいくら責任があるかもしれないという言い方になんてなりました。それでどうなったかという、平成四年十一月に学校以外のたとえば、絵の塾に行くとか、あるいはお習字、勉強塾に行くとかを学校の出席扱いにすると、決めました。

気心六〇% 性格四〇%

学校とそれ以外の教育機関が話し合い、適切であるというふうに考えたものに関しては、出席扱いにします。しかもそれは、四月に逆のほって実施することを決めた訳です。ですからこれは、登校拒否のお子さんを持つてらして、悩んでた親御さんにとりましては本当に朗報です。明治六年に義務教育が始まって、去年で百二十年たちますが、このようなことは初めての出来事になります。

以上のようにさまざまな教育改革をしていく時、一番大きなものは偏差値という問題なのであります。教育の中で作られた偏差値。それによって進学する道まで全部決められてしまう。偏差値がいくつでは、お宅のおさんは無理です。ですからやめなさいという形です。数字で切られてしまつというところがまかり通っていました。偏差値ばかりじゃなくて、教育の中味が変わってくる。試験のやり方も変わってくる。試験のやり方も変わらざるを得ない状態になる訳です。そのように学校が非常な勢いで変わり出そうとしている。当然親御さんも子どもさんもそして地域社会もどう対応していくのか、考えていかなければなりません。

性格四〇%

ところが相変わらず、私たちの周りには、事件が起きています。

山形県の中学校でイジメによって殺されるという事件。しかも、クラブ活動という当然先生がいらっしゃって、指導しなければいけない時間に起きたという。その前に中学生の集団飛び降り自殺という事件が、去年の暮れに起きました。

山形の事件に関しては、子どもさんが出してる信号を、学校側が親御さんが、子どもさん全体が気づかなかつたという言い方。あるいは学校当局が知らないのはおかしいという形で、ずいぶん言われております。しかし、私は、いまの状況の中から一番基本的な問題というのは、人間同士、お互いによく知らない間柄にあるという問題点があるかと思ひます。

そこで、私が唱えている「気質別教育法」を申し上げたいと存じます。子どもの心と体は一体でして、親や先祖からもらった心を気心。それを気質といいます。一方、環境によって育った心を性格と申します。ですから「親から受け継いできた心の中から環境によって性格が育つ」という言い方になる訳です。気心は生まれつきだから死ぬまで変わらない。性格は環境



中学校の授業

分らない」という言い方をします。気持が分からないというの、性格が親からのぞけないようになってきたと、考えればいい訳ですね。

反対に、この子はどうしてこんな事をやるようになったのか、問題行動を起こすようになったのか。と疑問を持った時は、小さい時どんな子だったのかを、親御さんに聞いてみよう、知ってる人聞いてみよう、ということになる訳です。

心を二〇%とするとわ

十人十色の教育方法を

の変化によって変わる心でありますから、衣食住の影響で何歳になっても変わる訳ですね。0歳から七歳までは気心が優先し、それを過ぎてからは性格のほうが、加速度的に育つてまいります。

先生でいいますと、小学校の先生はどちらかというと子どもの気心が見え、中学、高校の先生になると子どもの気心が見えにくくなって、性格はどんなものであるかということが見えるようになってきます。親御さん、特にお母さんの場合は、気心でこういう子なんだと見てる訳です。それがだんだん大きくなると、「このごろ、うちの子どもは、なにを考えてるか

れわれ大人の割合は、気心が六〇%、性格が四〇%というふうにお考えいただければよろしいと思います。親から受け継いだものが六で、子どもの環境や教育の力によって変わった心が四の割合、どちらをよく知っていれば自分の子どもの心を間違いないにつかめるか、ということになります。

「どうしてこの子はこういうふうだったんだろうか」と、悲しんだり、辛い思いをしなくてすむためには、この気心をどれだけ理解するかということです。性格は隠すことができます。あるいは、人に見せないようにすることもできます。

んな事件が起きてしまったのかになる訳です。イジメられる危険のある子どもに対し、守るとか、注意を与えておくとか、そういう大人側の配慮が大切なのです。子どもにそれを求めても分からないから無理なのです。

いずれにいたしましても、人間とは十人十色、百人百色ですから、さまざまな考え方、さまざまな力を持っています。その個人的な気心、性格をわきまえた上で、相手の接し方、教育の方法を考える必要があると思います。

町立柿岡保育所

「おはようございます」の元気なあいさつとともに、柿岡保育所の一日が始まります。両親や家族に送られて登所した園児たちは、保育所が見えたと全力疾走で自分のクラスに入ってきます。

同所の園児数は現在、百十九名。二歳から五歳まで四クラスに分けて保育をしています。午前八時三十分に登所した園児たちは、自由遊び、組別保育、給食その後、昼寝をして午後四時降所となります。その中で、園児たちの一番の楽しみは、手作りの給食です。あたた



かいご飯と毎日工夫をこらしたおかずからは、作った人の愛情が伝わります。

柿岡保育所父母の会（太枝正男会長）は、労力奉仕、夕涼み会、運動会など年間を通した行事に、積極的に協力しています。とりわけ、春と夏、年二回の役員さん中心の労力奉仕では、草取りや遊具施設の塗装などが行われ、環境整

親子ふれあいと 学習面の強化を進める



合唱団いずみ会所属の荒井さんの協力でひなまつりに童謡を歌う

備充実に必要な役割を担っていただいております。

父母の会により準備された夕涼み会では、親子で踊りをしたり、花火をしたりして、夏の夜の楽しいひとときを過ごします。また、地元のみ地元の祇園ばやし保存会も出演。カネ、太鼓の軽快なおはやしに合わせ、きつね、ひよっこ、おかめなどの見事な踊りを披露します。

十二月のクリスマス会では、楽しい歌を歌ったり、お話を聞いた

りしたあと、サンタクロースが現われて園児たちにプレゼントを贈ります。突然のサンタの出現に、園児たちは驚きとうれしきで興奮状態に。

三つ子の魂百までといわれるように幼児教育は最も大切とされています。同所では年間、盛りだくさんの行事を組んで親子ふれあいを充実させるとともに、卒園までにはみんながひらがなを読めるようにするなど、学習面の強化もかかっています。

町長の日記帳から

二月の主な動向はつぎのとおりです。

町民ゴルフに多数参加

桜井盾夫



今年度で十七回目を迎える町民ゴルフ大会は、町内にあるサミットゴルフ場で開かれました。ゴルフ場の都合により昨年の七月とことしの二月の二回に分かれての大会となりました。参加者は八月が百六十人、二月が百三十人で総数二百九十人です。そのうち女性の参加者は十人前後。町内でのゴルフ熱は盛んで、大会参加者も毎年、たくさん集まります。大会開催にあたっては、役員さんはじめ関係者のみなさんのご努力によるところが大きく、緊張感みなぎる中にも終始和やかにプレーできたとのこと、なにより結構なことでした。私はその日、ゴミ処理施設関係の会議があり、始球式と表彰式のみに出席。一緒にプレーできず残念でした。健康増進と人とのふれあいを目的に、ゴルフを始めましたが、最近、公務多忙のため、ほとんどプレーできないのが現状です。

古紙・古布は資源 毎月第一日曜日に回収

皆さんがゴミとして出している

紙・古布などは、再生すればもう

一度りつばな資源となります。新

治地方広域事務組合では、限りあ

る資源の有効利用とゴミ減量のた

め、毎月第一日曜日に古紙類、古

布類を回収しています。通常の集

積所へ午前八時までに出してくだ

さい(遅れると通常のゴミ収集に

影響します)。

資源ゴミの分け方・出し方

古紙類

▽新聞紙・チラシはひもでしぼり、ダンボールは平らに開いてひもでしばってください。

▽はがき、レシート、テスト用紙、菓子箱などは紙袋に入れてください。

古布類

▽各種衣類、シーツ、カーテン、

布団カバー、タオル等布地の物は

ひもでしぼり、ビニール袋に入れ

てください。

また、集積所に出してはいけな

いゴミや正しい分別がされないで

出されているゴミがあります。ゴ

ミを処理する経費は私たちの税金

でまかなわれます。正しく分別す

ることは、処理の手間を省き、経

費の節減につながります。

ゴミは、正しく出すよう一人ひとりが心がけましょう。

種別	ゴミの種類	出し方	手数料
可燃物	台所ゴミ、紙くず プラスチック製品、繊維くず 座布団、合成皮革製品 木くず (50cm以内の物) 畳 (三つに切る)	水をよく切って袋に入れる。 集積所へ出す。	無料
不燃物	空き缶 (18ℓ缶より小さいもの) 空きビン、板ガラス くず鉄、ネジ、機械小部品 陶磁器、植木鉢	コンテナに入れ集積所へ出す。 缶やビンの中はからにする。	無料
集積所に出す粗大ゴミ	18ℓ缶より大きい物で、長さ1.5m未満、重さ20kg未満の物 自転車、じゅうたん、カーペット スチール家具で小さい物 テレビ、トースター	集積所へ出す。	無料
自己搬入する粗大ゴミ	長さ1.5m以上、重さ20kg以上の物 たんす、机、ソファ 機械、バイク、農業機械、部品 冷蔵庫、洗濯機 ドラム缶、大型テレビ	集積所へ出せない。 直接焼却所へ自己搬入する。	無料 100kgを超えた分は10kgにつき100円
高分子ゴミ	タイヤ、ビニール、塩ビパイプ	集積所へ出せない。 焼却場で受け付ける。	10kgにつき500円
事業系ゴミ	商店から出される発砲スチロールや縫製業者から出される繊維くず	集積所へ出せない。 焼却場で受け付ける。	10kgにつき100円
処理できないゴミ	産業廃棄物 営業により発生した廃家電製品や部品、農機具等 土、石、コンクリート、丸太 薬物、医療廃棄物等	集積所へ出せない。 焼却場でも受け付けられない。	—

集積所に出す粗大ゴミと、焼却所に自己搬入しなければならない粗大ゴミとの区別に注意しましょう。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

もうすぐ春です スプリング・フェア



一日ごとに春の足音が近づいてきていますが、フラワーパークでは、四月四日から一八日まで「スプリング・フェア」を開催します。

フェア期間中の土曜日は二百名様、日曜日は三百名様に抽選で草花や苗木をプレゼントします。

また、四月九日から一日までは、卓上花の大作を中心とした「フラワーデザイン展」を、

一日の午後一時三十分「春花壇教室」。一日から一八日まで、日本に自生している野生

ランの一つであるエビネを多数展示する「エビネ展」。一八日の午前十一時から午後二時か

らの一日二回、バラの花などを使いどなたにでも簡単にできる「卓上花の作り方」に関するフラワーデザイン教室を無料で開催いたします。

そのほか、期間中各種草花や春植え球根、果樹苗などを多数展示する「スプリング・ザ・セール」などさまざまな催し物を開催いたしますので、ぜひご来園ください。

なお、四月二五日からは、ゴールデンウィークのイベントとして「ボタンまつり」を開催いたします。

開園時間は、午前九時から午後五時(入園は四時三十分まで)月曜日は休園となります。

八郷町の文化財

⑧

山車の上でみごと宙返り

柿岡からくり人形

県指定 昭和三十七年一〇月二四日
所在地 八郷町柿岡

からくり人形は、七月二四日の柿岡祇園祭りに公開されています。柿岡の各町内から、にぎやかな山車が出されますが、からくり人形の山車は、県内でもまったく類のない特殊な山車です。

昔は、高さが六メートルありましたが、電線などの都合で今では高さ一・五メートルの山車に三メートルほどの角柱を立てられ、その最上部に横木を組み、先端に「ことり人形」、後部に「はらんばい人形」、横木から一段低い所に「くさり人形」を置きます。

三体の人形は、唐人の頭髪と衣



服姿で身を飾り、矢車拍子といわれる太鼓の音に合わせ、それぞれの操る綱によって動作を演じます。

からくり人形の起源は不明ですが、人形を納める箱に「安政二年（一八五三）江戸浅草・池田屋利兵衛より。常陸国・柿岡山城屋武助様」と記してあり、その当時、両者は呉服商。これから推測すると、この人形は以前からすでに使用されており、この年代になつて

今も「お鳴様」と信仰される

宝篋印塔

県指定 昭和四十九年三月三十一日
所在地 八郷町半田中原一三三〇

半田集落の畑中に、ひとときわ目

立つ宝篋印塔が見受けられます。室町時代の造立と推定されますが、その当時の高僧が、経巻を塔中に納め、後に供養塔としたものと思われまふ。今も「お鳴神」と称し近隣の人々に信仰されておりまふ。

総高一・五メートル、材質は花崗岩・基礎・塔身・相輪などは当初のままで、特に相輪の形が大きく四隅の隅飾り突起が馬耳状とは

修理または新調されたものであらうといわれています。

ことり人形は、扇子を右手に持つて正座し「座して舞えば山をも空し」の意味を表現しています。はらんばい人形は、うつ伏せで両手を広げ「社会の荒波を押し切る勇氣を持つこと」を示します。くさり人形は、横棒につかまり宙返りをし「忍耐と勤勉・努力」を表わしています。

中国伝来のからくり操作人形の山車が、のどかな太鼓の音に合わせ、ゆったりと人々に引かれて歩く情景は他の山車にはない気品と誇りを持っています。

違つてむしろ蔵手（こぶし形）であることが目立ち、この地方独特の形を示しており珍しい宝篋印塔といわれております。



最近気になる病気

こどもの肥満

石岡市医師会病院

小児科 加島たか子医師



成人病予防の観点から小児の肥満が問題視され、乳幼児健診でも肥満に注意が払われるようになってきました。

「よく食べてまるまると太った子供」というといかにも健康的に聞こえますが、太り過ぎは将来の不健康につながる可能性があります。肥満児の中には、血液中的コレステロールや中性脂肪が高い子、また、血圧が高い子がしばしばみられます。

いずれも、代表的な成人病である動脈硬化性疾患の危険因子です。動脈硬化の初期病変はすでに十歳代から認められ、実際に二十歳代で心筋梗塞を起こす人もいますから、子供だからと安心してはいられません。肥満によって体内の糖分を調節する能力が低下して糖尿病になる子供や、肝臓に脂肪が沈着して肝臓の機能が低下している子供もいます。

さて、肥満対策ですが、太り始めた子供を早く見つけてそれ

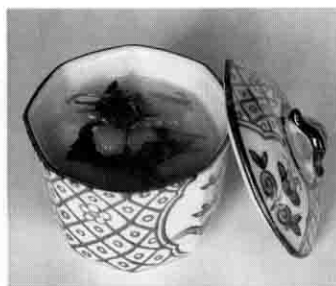
以上太らないようにしなければなりません。

肥満児にはしつけの甘い子が多いといわれ、まず生活週間の見直しが必要で、積極的に家の手伝いをさせ、体を動かすようにします。だからだとテレビをみていたり間食をとっていたら改めさせてください。外でよく遊ばせること、運動させることも大切です。

食事にも気をつけなければなりません。小児は成人とちがって成長しますから、よほど高度の肥満でない限りきびしい食事制限は行いません。お菓子やジュースなどのとりすぎを改めるだけでも、かなり摂取カロリーを減らすことができます場合があります。

厳密なカロリー計算は不要ですが、ある程度は食品のカロリーや栄養などの知識を持つべきです。家族全員の健康管理を考える上でも食事内容の見直しは大切です。

しつけ、食事、体を動かすこと、いずれも家族全員の協力が必要です。



食生活改善推進員 磯山幸江（浦須）

材料 とりささみ大3本 生しいたけ3枚 にんじん20g みつば8本 卵3個 牛乳1½カップ 塩小さじ½ こしょう少々 しょうゆ少々 ぎんなん12個（なければ入れなくてもよい）

作り方

- ①ささみは一口大に切り、塩をふっておきます。
- ②生しいたけは、いしずきを除いてそぎ切りにし、にんじんは千切り、みつばは3センチの長さに切ります。
- ③卵を割りほぐし牛乳を加えてよく混ぜ、塩、しょうゆ、こしょうを加えて裏ごしを通します。
- ④蒸し茶碗に、ささみを入れ、しいたけとにんじんの半分を入れて卵液を注ぎ、蒸気の立った蒸し器に入れて約10分蒸します。
- ⑤表面が固まりかけたら残りのしいたけとにんじん、下ゆでしたぎんなんを散らし、さらに数分蒸して火を止めみつばを散らします。

ぎんなんは鍋に少量の湯を沸騰させ、おたまのそでこすりながらゆでると渋皮がきれいに取れます。

わが家のアイドル



大増

中田 美津穂ちゃん

父 透さん 母 幸子さん

平成2年9月5日生まれ（長女）

♥家族からの一言

人見知りせず、すぐにだれとでも友達になれます。

ままごとやパズルが好きでよく遊んでいますが、なんと言ってもお父さんと遊ぶのが一番。

素直で、人に好かれる人になっ
てほしいと思います。

みどり生き生き

八郷の自然

⑥



ヒラヒラ、ヒラヒラ、桜の梢から、青い空から、限りなく舞い落ちる花びら。両手を挙げ、花と遊ぶ新入生、校庭には歓声があふれている…。

今の小学校でも見られるこの情景は日本人なら誰でも持っている、郷愁に生き生き、桜への思いの原点だ。

婚礼の桜湯、満開の桜の下での花見の宴、さくらもちの香りなど、桜あつての日本の春である。

八郷町は自生の桜が多い。山桜である。校庭などに植えられているソメイヨシノなど、多くの園芸種の原点になったこの桜は、長寿で病害に強く、校庭の桜などに見られるテングス病などの被害を受けない。

山桜は国有地や共有地などに多く、

八郷は山ざくらの郷

シノなど、母なる山桜に魅せられた人々の積年の努力によつての成果であるが、秘められた魅力は限らない。

山桜の多い八郷のシンボルとして、昨年、上青柳に自生する老樹が町の天然記念物として指定された。八郷での山桜の王者である。

八郷には桜の名所がいたる所にある。

変化に富んだ山なみを背にした山桜の群落もよし。ふと見かけた緑の森かげの一本の桜にも、それなりの風情がある。春風に花びらが舞い、麦の列の緑は日に日に深え、菜の花はパットあたりを明るくする。筑波も遠く近く、これが八郷の春である。

八郷はここに生まれ

育った町民が大部分の町である。飽かず接し

ているこの風景に、特に感じることはないのは当然のことであるが、せめて桜の今こそ家族中の目で、周辺を見渡し、〇〇家指定の桜の名勝地を発見してはどうだろう。七千年を越える八郷の茶の間に、花の話題の満開が期待される。町文化財保護審議委員 軽部豊

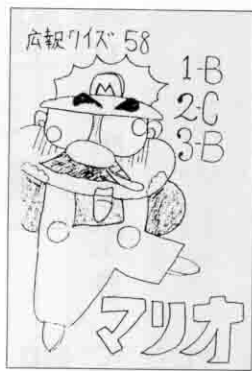
みんなの広場



さっちゃん (12)



山崎 青木麻依 (9)



真家 皆川安弘 (10)



JMS (13)

私も ひとこと

寒

い朝、幼稚園バスを待っている間、五歳の娘が、山を見上げて「おかあさん、山はえらいね。寒いとも言わないで、暑いとも言わないで! あんなに雪をかぶって、とてもきれいなね」こんな八郷の自然をこの子どもたちのために、残してゆきたいと思います。

宇治会 入江ひろみ (31)

わ

が家のまわりには、野良犬が多くて困ります。家の屋敷内をウロウロ…。わが家には歩き始めた子どもがいるのでかみつかれないかと心配です。

どうか、犬をむやみに捨てたり、放したりしないでください。匿名希望

月二十一日、十五名ほどの老人で福祉センターにいきました。

大增の老人会の方と迎えるの車に乗り合わせました。センターには、地元五反田老人会の総会もありました。その日は、平成四年度の入場者一万人が大増の方に当たりました。一万人にあや

かって全員記念品をいただき、運の良

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波 芳水

朝日小三年 上林明日香

朝日小四年 松延優美

平和

三年 上林 明日香

伸び伸びした筆使いで、たいへん良く書けています。

手伝

四年 松延 優美

一字一字ていねいに、しっかりと書けています。実力あります。

い日でした。

親切な運転手さんの送迎をいただき、気配り優しい職員さんに、お茶、おふろ、カラオケと、めいめい持参の手作りお茶受けでお茶を飲み楽しくくつろぎました。ちょうど戦中派の年代でしたので軍歌なども出ました。

機械もなく人力の農作業、戦中物質不足の生活を乗り越えてきた私たちにいたれり尽くせりのお世話は大変ありがたく心身ともに安らげる幸せな一日でした。

月岡 萩原照子

私の戦友から届いた詩を送ります。

大正生まれ

大正生まれの俺たちは 明治の親父に育てられ 忠君愛国そのままに、御国のために働いて みんなのために死

んでいきや 日本男子の本懐と 覚悟を決めてた なあお前

大正生まれの青春は 全て戦争の真ただ中で 戦いごとの尖兵は みんな大正の俺たちだ 終戦迎えたその時は西に東に 駆け巡り 苦しかったぞなあお前

大正生まれの私たち 明治の親にしつけられ 清く正しく美しく 大和なでしこ そのままに お国のために働いて 親の言葉に逆らえず 何かなんでも 親孝行

大正生まれの青春は 哀しい戦のそ

の中で きれいな着物も服も無く 防空壕で夜を明かし 娘盛りを挺身隊 恋しい人とも生き別れ モンペ姿で涙ぐむ 真家 長谷川雅吾

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 60

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①八郷消防署で昨年1年間に救急
車が出場した件数は何件？

- (A) 551件 (B) 511件
(C) 515件

②救急車の出場件数が最も多い曜
日は？

- (A) 月曜日 (B) 木曜日
(C) 日曜日

③資源ゴミの回収日はいつ？

- (A) 第一日曜日 (B) 第二火曜日
(C) 第三金曜日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ60と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入園券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成5年4月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙5月号

【広報クイズ58の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Bでした。
応募53通、正解52通の中から次の
10名が当選しました。

木村奈津美(柴内) 藤崎真里(真
家) 原田健治(半田) 鈴木みゆき
(小幡) 青木明子(山崎) 田山英
明(東成井) 菊地さと(金指) 大
槻登美(東成井) 富田美佐子(小
幡) 数藤輝文(柿岡) = 敬称略 =



小見 荒木美香(7)



ラム



月岡 田上幸子(11)

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

受験期は親も子供も可哀相大試練に耐えねばならぬ

東成井 大和 利

五十路にて職を替えたる友が来て酒飲み交す新しき年

東成井 仲野谷 昌 男

雪とけて黒き地肌に雑草は生命の強く青き芽をふく

真家 長谷川 雅 吾

俳句

綿引 鼓峰 選

軸替えて千両活けて客を待つ

瓦谷 石田 清 美

火事遠きこと確めて床に入る

東成井 小島 せ ん

紅梅の咲きそめ庭の蘇る

山崎 安達 利 男

俚謡

大木 嶺 月 選

齢はとつてもまだこれからよ私しや老人大学生

東成井 小松 み き

枝のきんかん茶の間に活けて隠居仲間で置炬燵

大塚 友部 ゆき江

見せたかったよ今亡き母に嫁ぐ娘の晴れ姿

下林 森田 龍 月



江戸時代の作といわれ、三十年
ぶりに出されたおひな様。平成の
世はいかが？ 小山田鈴木家所蔵



まちの話題で「きごと」

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課内線一二三)



技を競う、町武道大会

小学高学年 優勝富田勝（つくばねスポ
少）準優勝奥庭茂治（同）三位伊藤義則
（玉里スポ少）

《剣道》団体の部 優勝南中A 準優勝

園部中A 三位園部中B・有明B ▽中

学男子1年 優勝助川文久（南中）準優

勝柴宏（南中）三位高橋竜弥（南中）市

村忠臣（有中）▽中学男子2年 優勝安

達司（園中）準優勝飯田佳彦（南中）三

位関将史（南中）仲村芳明（園中）▽中

学女子 優勝込山由美（南中）準優勝田

島明香（園中）三位小池聡美（園中）鈴

木直美（南中）▽小学3年以下 優勝菅

谷浩之（小幡剣道教室）準優勝安達郁子

（同）三位富田敦洋（同）木崎啓覚（柿

岡剣友会）▽小学4年 優勝稲沼志保

（同）準優勝小林さやか（小幡剣道教室）

三位鴻巣和人（同）島田敦弘（同）▽小

学5年 優勝関貴司（柿岡剣友会）準優

勝高橋宣弥（同）三位海老沢治（小幡剣

道教室）高橋匡晴（同）▽小学6年 優

勝木崎寿浩（柿岡剣友会）準優勝桑山き

よ美（小幡剣道教室）三位高橋臣弥（柿

岡剣友会）大久保浩志（同）



《弓道》団体の部 優勝国谷保五郎・野

口勇・渡辺昭組 準優勝関口博造・足立

謙造・岡本学▽金的 優勝渡辺昭（八郷

高）▽射詰一般 優勝足立喜次（柿岡）

▽射詰高校 優勝岡本学（八郷高）▽競

射一般 優勝足立喜次（柿岡）準優勝足

立謙造（小屋）三位沼野茂男（新治）▽

競射高校 優勝岡本学（八郷高）準優勝

渡辺昭（同）三位若林実（同）▽総合優

勝足立喜次（柿岡）

ときめき
ティータイム



安達香里（20歳・大增）さん

趣味はバレーボールとスキー。

北海道旅行が夢です。理想の男性
はいっしょうけんめいな人。

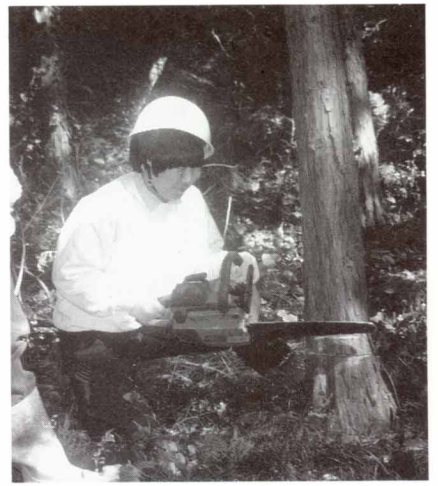


ありがとうございます

○柿岡保育所へ子供用三輪車十二
台 柿岡 小貫 仁

■訂正 先月号掲載の農林水産大
臣感謝状伝達者の住所が間違っ
ていました。次きのとおり訂正し
てお詫びいたします。

関口一雄さん（誤）柿岡正根小屋
菊地保文さん（誤）根小屋（正）下 林



学生がひのき林で間伐に挑戦

このほど筑波大学の学生や職員など十名が当町を訪れ、吉生公民館に宿泊し、二日間にわたり、ひのき林の間伐や技打の作業を行いました。

これは、筑波大の成田雅助教授の呼びかけに町森林組合が賛同したもので、昨年夏には山林の下草刈りも行われました。いま山林は当町に限らず、後継者不

足や安い外材の輸入による林業不振などで荒れたところが多く、学生たちに、実際に作業を体験し、林業の問題点を知ってもらうとともに、霞ヶ浦の水源でもある筑波の山々を守ろうというものです。学生たちは、初めての体験にもかかわらず、なれない手つきでチェーンソーをにぎり大奮闘、貴重な汗を流しました。

ひとり暮らしのお年寄りに給食サービス

このほど町では、ボランティアの皆さんの協力を得て、町のひとり暮らしのお年寄り三十一名に昼食のお弁当を届けました。

町ボランティアグループ「つくしんぼの会」の皆さんとホームヘルパーが三、

四人ずつ五班に分かれ、お弁当を届けたものです。

当日は、つくしんぼの会の皆さんがお弁当を配りながら、お年寄りの近況や健康状態などを聞くなどコミュニケーションも図り、大変喜ばれました。



「対話の時間」に活発な意見

平成四年度の第二回「まちづくり対話教室」が二月二六日、三十三名が参加して行われました。

同教室は、公共施設などを見学しながら町長と対話をしていただき、皆さんの意見を町政に反映させるとともに、皆さんに町政に対する理解を深めていただくものです。

当日は、中央公民館を朝九時に出発、

町浄水場、フラワーパーク、石岡市の白鹿酒造、柏山浄化プラント、千代田町のごみ焼却場などを見学。フラワーパークで行われた町長との「対話の時間」では、道路の拡幅や老人福祉に関する問題など、活発な意見が出されました。また、個人ではなかなか見学できない浄化プラントやごみ焼却場などの見学に参加者は担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。



町勢要覧

「やさと」を発行

町では、このほど町勢要覧「やさと」を発行、町内の全世帯に配布しました。

同要覧は、町民の皆さんに町の現況を紹介するとともに今後のまちづくり、ふるさとづくりなどの指針を理解していただき、郷土意識の高揚と行政執行の円滑化を図ることを目的に発行したものです。町の要覧は昭和六十年以来発行されておらず、このほど八年ぶりの発行となりました。

今回発行した要覧はA四判、カラー六十四ページ、資料・行政ガイド二十八ページで編集、八郷の自然が写真でふんだんに紹介されるとともに、都市基盤の整備や生活環境の整備などについて、これからの町の指針が示されています。



優良農業後継者をたずねて (1)

農政活動推進本部ではこのほど、平成四年度の優良農業後継者五名の表彰を行いました。農畜産物の輸入自由化や米の生産過剰など厳しい農業事情の中、花卉、葉たばこ、水稲栽培に意欲的に取り組まれているかたが選ばれました。あすの町農業の中心の担い手として、活躍が期待される受彰者の皆さんの横顔を、今月号から紹介します。

管理に気配り シクラメン栽培

下林 鈴木寿光さん (25)

乾田化した水田に、温度管理や水管理などの自動化が施されているガラスハウス二棟が建っています。一棟は自己資金、もう一棟は自立農業確立緊急対策事業で建てたものです。その



中に、この春出荷予定のウエンデイ、アスター、日日草、百日草の苗が整然と並んでいます。

鈴木さんはシクラメン栽培をはじめて二年目。学校を卒業後一年間、北茨城市で専門的なシクラメン栽培の研修をしてきたそうです。

シクラメンは種をまいてから出荷まで十二カ月以上かかるため、あわせて春ものの花を栽培しています。作業は鈴木さんと母親そしてパートのかた二人の計四人で行っています。

栽培は施肥管理に注意して病気を出不さないことが第一。シクラメンはどうしても必要なものではないので、色とりが鮮やかで形のよいものを作るのに苦心しているそうです。しかも、神経質な花のため、良質の上等な花を育てるには管理面がむずかしいとのこと。

シクラメンの相場は低下傾向にあり、量産しないと採算が合わず、将来は四棟にしたいとか。いまは、人件費がかかるので、省力化にむけた取り組みも大切。たとえば水かけに一時間以上かかっていたのが、低面給水を導入すると五分で済むそうです。

「花の嫌いな人はいないので、高値がつかなくても売れないことはありません。今後、相場によっては野菜栽培にも手を広げたい」と、ハウス経営に自信をのぞかせていました。

年間通して 切り花を出荷

柿岡 川井孝文さん (22)



朝がたハウスから切り取ったチューリップを、昼近く納屋で出荷用の箱詰めをしていました。

作業は、川井さんと両親、おばあさん、パートのかた一人の五人。花を選定し、揃えて同じ長さに切り、箱詰めをして包装。息の合った一連の作業は見事なものがあります。

川井さんは高校を卒業後、一年間、外に出て働き、いまのハウス経営を始めて三年目。チューリップ、キク、ユリ、フリージアなどの花を年間通して栽培しているそうです。

町とその周辺で花卉栽培をしている仲間十二人で作っている「フ

ラワースクスクラブ」に入り、同じ目的を持つ仲間と交流し、定期的な研修会を開いて熱心に研究しているそうです。

農産物は価格が安定してないので花卉にこだわらず、幅広い栽培を心がけ、どんな作物でも栽培するようにしたいとか。

町への要望について「町にはフラワーパークがあり、花のイメージが定着しています。電柱を地下埋設したり、沿道にもつと花だんを配置したりして、花のまちにふさわしい環境づくりを進めてください」と話していました。